

- P1 環境学習講演会報告
「親子のための出前環境塾」報告
- P2 環境活動団体紹介、イベント案内、ミニ情報
- P3 県民協働型自然共生手づくり事業
- P4 手づくり事業活動報告、希少野生動植物種
保護支援員の募集、センターからお知らせ、
共催講座のご案内

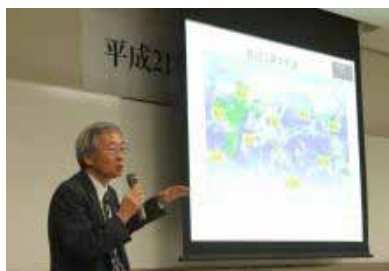


環境学習講演会を開催しました！

地球温暖化と異常気象

平成22年1月31日(日)

in 山口県セミナーパーク



平成22年1月31日(日)山口県セミナーパークにて、気象予報士で、(財)気象業務支援センター専任主任技師の村山賢司氏を講師としてお招きし、「地球温暖化と異常気象」と題してご講演いただきました。当日は定員を超える参加者がありました。以下、講演要旨を掲載します。

地球温暖化や異常気象について、毎日のように話題になっていますが、今ひとつピンとこないのは、「100年後」の環境への影響が論じられるからです。また、当たり前前の寒さを異常気象だと思うのは、昔の基準でみるからではないかと思えます。最近の気象状況を見ると、大雨や台風などにより、今までにない

ような大きな被害が発生しています。「30年に一度～」と言っていた異常気象がこれからは多くなると考えられていて、100年に一度のはずの大雨が20年に一度くらいになるかもしれません。

山口においても、67年以降40年間で気温が1.6度上昇しています。これは170km南に下がった地域と同じ状況。また、年間降水量は10%弱増えてきており、真夏日が多くなっています。全国的にもこの20年の間、大雨の被害と水不足が同時に各地で起こっています。このようなことにより、気象条件が変わり、農作物の栽培適地が変わってきたりと、温暖化や異常気象がもたらす影響は遠い小さな国だけの話ではなく、当然世界中に、日本にもあるということを知っておいてほしい。温暖化の原因であるエネルギー消費量は年々増加しており、電気使用量は45年で6倍以上に増えてきています。今後は自然エネルギーをどこまで増やせるかでしょう。私たちは日常生活の中で必要なときに必要な分だけエネルギーを使うよう心がけることが大切です。自分の生活に合った方法で、出来ることを最低10個はしてほしいですね。ちなみにリサイクルはエコじゃありません。リサイクルするにはエネルギーが必要です。リサイクルをするもの自体を減らすことが大切だと思います。



親子のための出前環境塾



平成21年12月21日(月)

長門市立日置小学校を訪問しました。中国電力(株)山口営業所の方から電気のおみやみや大切さなどを、また、日置地区には風力発電設備があることから自然エネルギーの活用などについて、実験や工作を交えて教えてもらいました。子どもたちは、発電するにはたくさんのエネルギーが必要だということを体感しながら学びました。



平成22年2月19日(金)

美祢市立田代小学校を訪問しました。全校生徒9人の小さな学校です。保護者と先生も加わり、みんなでエコかるたをした後、出すごみをもう一度確認しよう！とみんなで見直しながら、リサイクルマークの見方などを勉強し、美祢市リサイクルセンターの方から美祢市のごみの分別方法やリサイクルごみが出された後はどうなるのかなどに



ついて教えてもらいました。また、ペットボトルを使って、リサイクル工作も行いました。



水素自動車も見学したよ！

「親子のための出前環境塾」

全県的な環境学習を進めるため、セミナーパークから遠隔地にある地域の小学校と連携し、小学生及び保護者を対象とした環境問題に関する講座を開催しています。家庭や地域において環境問題について理解を深め、考え、行動できるようにすることを目的としています。内容はご要望に応じてプログラムします。お問い合わせは環境学習推進センターまで。



環境活動団体さんをご紹介します！

NPO法人しぜんとあそびたい 長門市油谷町 代表 安倍 隆史さん

近年、「自然」の持つ力が見直されはじめ、また、まちづくりや教育をはじめとするさまざまな分野で、市民の力、市民活動に大きな期待が寄せられています。これらは油谷も例外ではありません。

私たちは、

- 油谷の自然を取り戻したい、
- さまざまな人と関わり合いながら豊かに生きたい、
- そして、
- 社会ニーズに応えていきたい、

そんな思いをもとに、油谷の自然を愛する者たちが集まり、「しぜんとあそびたい」を設立しました。

今後、私たちの活動が大きく広がり、油谷、ひいては山口県を生き活きと創造していく「活力」となっていくことを願っています。

会員数：21名
活動地域：長門市油谷地区
活動状況：河原地域環境保全会支援/赤屋中山間
コラボ/油谷小学校学習支援/植林活動/
ごみ拾い(環境美化)/自然観察
今後の活動：環境保全/青少年の完全育成/むらおこし



イベントのご案内



セミナーパーク ふれあいフェスタ2010 春

とき **5/16 (日) 10:00~15:30** (雨天中止)

セミナーパークでは毎年、広く県民の皆様々にセミナーパークを知って利用していただくために、自然の中で家族連れで楽しめる交流・ふれあいイベントを開催しています。今年は、雨で中止になった昨年分まで気合いを入れて(?)開催予定(^^) 環境学習推進センターも、老若男女楽しみながら、環境について学べるブースを設置します。たくさんの方のご来場を楽しみにお待ちしております。



<環境学習推進センターブース>

大声トライアル 環境輪投げ
ソーラークッカーでティータイム
豪華粗品あり 是非お越しください!



ミニ情報

空を見上げよう

空に浮かぶ雲を眺める時間はありますか？「見上げてごらん～夜の～」それは星。風景やら野鳥やら人目線で見えるものはじ～っとじゃなくても見えています。そういえば昼間の空や雲って、意識して見てないかも。

雲とは、空気中の水蒸気が凝結して微細な水滴または氷晶の群となり、高く空に浮いているもの。可視光線(光)を反射しやすいため、白く見えます。今朝は雲ひとつない青空でしたが…。雲の形はいろいろありますが、形や現れる高さや原因から、**巻雲、巻積雲、巻層雲、高積雲、高層雲、層積雲、層雲、乱層雲、積雲、積乱雲**の10種類の基本形に分けられています。普段はそれぞれを俗称で呼んでいますね。例えば、高いところにある巻積雲はうろこ雲。モコモコが整列している高積雲はひつじ雲。ちなみに筋斗雲は「よいこ」じゃないと乗れません。そういえばそう言うねえ～と思った方は、ちょっと空を見上げてみましょう！「あ、ソフトクリーム！」「あ、肉まんみたい」…雨降りますからそれ。また、**雲形記号**というのがあり、これがちょっと面白いので、併せて一部ご紹介します。



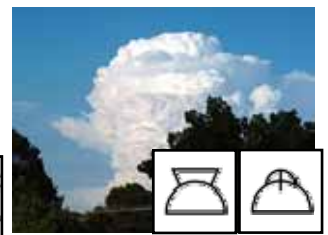
巻積雲(うろこ雲)



高積雲(ひつじ雲)

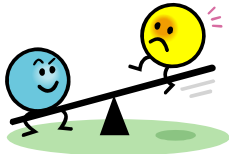


どんより重そうな
乱積雲(雨雲、雪雲)



どしゃぶり来そうな
積乱雲(入道雲)





『県民協働型自然共生手づくり事業』

体験発表会開催!



日時: 3月14日(日) 10:30~15:10

場所: 山口県セミナーパーク 研修室103

主催: 山口県、(財)山口県ひとづくり財団

内容: 午前(活動団体交流会と合同開催)

講演会 「こどもたちにとっての身近な自然とは」

沖縄大学准教授・フリーライター・イラストレーター 盛口 満 氏

午後 **体験発表 7団体** (活動内容は以下のとおりです)

岩国往来まちづくり協議会

・岩国市藤河および美和町長谷

江戸時代の古道岩国往来沿いの松尾峠、長谷溪谷等で多くの方々が自然を体感できる場所にするため、ベンチの設置や草刈等の清掃活動とウォーキングを実施しました。



錦川観光協会

・岩国市錦町広瀬

準絶滅危惧種(環境庁のレッドリスト)のセツブンソウ自生地を保全するため、保護柵等を設置し併せて自然環境について学習をしました。また、花の開花時期に合わせて観察会を実施しました。



大内塗ふるさとの森づくりの会

・山口市宮野上

大内塗の原木「エゴノキ」の生育環境を保全するため、草刈、間伐等を実施し説明看板を設置しました。また、エゴノキを利用し大内人形を描く作品づくりを実施しました。



山口むしの会

・宇部市妻崎開作

ヒノマイトトンボの生息環境を整えるため、草刈、ゴミ拾い等の保全作業と観察会を実施しました。

ヒノマイトトンボは汽水域に生息する体長わずか2cmの希少な生き物です。



本山会

・山陽小野田市竜王山

竜王山に群生するモリアザミ等の植物を保全するため、草刈を実施し、植物群落の案内標識を設置しました。秋には山野草の観察会を実施しました。



北浦自然観察会

・萩市川上江舟岳

江舟岳のホンシャクナゲ自生地の環境を保全するため、雑木の伐採や説明看板等を設置し、ホンシャクナゲと環境について学習をしました。



秋吉台エコ倶楽部

・美祢市美東町赤

県絶滅危惧種に記載されているモリアオガエル、ニホンヒキガエルの繁殖場所を確保するため、産卵池づくりを実施しました。また、産卵時期には卵救出作戦も実施しました。



参加しました 手づくり事業!

今年度は、県民協働型自然共生手づくり事業として、8団体の事業を助成しました。大きく分けると、『植物や生き物の保護や保全活動』を実施したものと『里山の整備』の2種類でした。

- ・ 保護・保全活動に参加して学んだことは、植物(生き物)等は、希少であったり美しかったりすると盗掘の被害にあうことがあるということ。そして、その行為によって希少な植物(生き物)等は益々数を減らしてしまうこと。植物(生き物)等は環境に適した場所でしか生き続けることはできない、今、減少してしまっているものがどこにでも根付くのであれば希少にはならなかったはずということ。これらのことを、みなさんの力をお借りして広めていきたいと感じています。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・ 里山の整備事業では、多くの人々が自然を感じる空間が生まれました。それと同時に、長い年月をかけて人が創造した二次的自然(里山)を守ることに繋がる整備でした。人が入らなくなった里山は、わずかな年数で日の差し込まない暗い森になってしまうとのことです。整備することで、ここで生きてきた植物(生き物)等を守ることもなります。
- ・ どちらの事業も、継続して活動をしていくことが必要なものです。どうか、機会があればこのような自然にふれる活動にご参加ください。



希少野生動植物種保護支援員になろう

保護支援員の役割とは・・・

自然の中に出かけ自然とふれあい、自然を知ることからはじめてください。そして動植物の観察会、研修会、ナベヅルのねぐら整備などを対象とした保護活動や竹林の伐採などの保全活動などへ参加し、自分のまわりの人々に希少野生動植物の現状や保護の大切さを伝えることです。

登録の方法は・・・

希少野生動植物種保護支援員は、小学生以上で登録することができます。ただし、小学生の場合は保護者と一緒に登録、中高生は保護者の承諾が必要です。『希少野生動植物の保護』や『自然と人との共生』に関心や熱意のある方、自然環境に興味のある方はぜひ登録を!!

登録につきましては、山口県環境生活部自然保護課(TEL083-933-3060)までお問い合わせください。



環境学習推進センターからのお知らせ

環境学習教材の貸出、ご相談に応じます!

地域や学校、会社等での環境学習などに活用していただくために、環境に関する図書やビデオ等の教材を無料で貸し出しています。個人でもOK。現在、図書347冊、ビデオ・DVD等236本、紙芝居7話、環境啓発パネル10種類など。プログラム教材もいろいろありますので、いつでもご相談ください。

いきいき環境塾スタンプラリー実施中! ~平成23年3月まで

山口県立きらら浜自然観察公園、秋吉台エコ・ミュージアム、つのしま自然館及び環境学習推進センターで開催されるスタンプラリー対象講座を受けた方にスタンプカードを差し上げます。4つのスタンプが揃ったら、「いきいき環境塾修了生」の修了証と記念品を差し上げます! 詳しくは各施設にお問い合わせください。



共催講座のご案内 (4月)

詳しくはホームページで!

月日	時間	講座名	共催団体	場所
4/18(日)	未定	里山・環境講座(仮)	ヒュッテ桂谷ランプの宿	山口市小郡

< 編集後記 > 広辞苑で「空」を引くと、「から、あるいはくうと読めば、中身が何もないことを意味する。」とある。頭の中? 空腹? どちらも中身ありますけど、何か? 用例文には「男心と秋の空」って。え? と思ったら、『のちに、「女」に置き換えて「女心と～」ともいう』とのこと。時代とともに力関係とかが変わったんですねえ、所長(^ ^)(あ)

寒暖の差が大きく「春はまだかな?」と思いながらふっと木を見上げるとカラスがせせせと巣作りをし、水の中をそっと見るとオタマジャクシが泳いでいる! 春は来ていた!(と)

発行元 (財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター
〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>